



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称) 柏の葉キャンパス新技術センター計画 C2棟 新築工事	階数	地上2F、地下1F	
建設地	千葉県柏市若葉132-1画地、132-2画地	構造	S造	
用途地域	第二種住居地域、準住居地域、第二種高度地区、法22条区域	平均居住人員	XX 人	
地域区分		年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年9月 0.0	評価の実施日	2023年10月31日	
敷地面積	5,680 m ²	作成者	大竹 慎	
建築面積	3,276 m ²	確認日	2023年10月31日	
延床面積	8,320 m ²	確認者	丸山 琢	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

環境品質

環境負荷 L

100

50

0

3.0

1.5

BEE=1.0

0

50

100

S

A

B+

B-

C

80

3.0

20

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

■建設 ■修繕・更新・解体 ■運用 ■オンサイト ■オフサイト

①参照値

②建築物の取組み

③上記+②以外の

④上記+

0

46

92

138

100%

65%

65%

65%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q3 室外環境 (敷地内)

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

LR1 エネルギー

Q1 室内環境

5

4

3

2

1

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.5
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.7	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 4.1	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合 建物全体のコンセプトとして"Pneumatic Design"を掲げ、世界の空気圧の中心となるような、建物内に留まらず街全体での空気・風の流れをイメージさせる流線形的设计、風通しの良いグローバルコミュニケーション、街とSMCを繋ぐ空気感を演出する。また、各棟の個性を生かしつつも、統一感が出るようなファサードや段々状のルーフトラスを採用し、テラスを介して2つの都市公園の豊かな緑を街へと繋ぐグリーンネットワークを実現する。		その他 -
Q1 室内環境 - 中央管理方式の空気調和設備を採用している。 1作業単位での照明制御かつリモコンを設置している。	Q2 サービス性能 - 災害対策として重要機器への電源供給を確保し、また汚水を一時的に貯留可能なピットを設けている。 - 敷地内にマンホールトイレを設け、災害時には近隣へ開放する計画としている。	Q3 室外環境(敷地内) - 敷地外周部を積極的に緑化することで、単調な風景を緩和し良好な景観を周辺地域に提供している。 - 建物高さを抑え、外壁周囲にガラス面を多用することで、周辺の風景に調和した圧迫感を抑えた計画である。
LR1 エネルギー - 高効率な設備機器等を導入しており、エネルギーの効率的利用に配慮した計画としている。 - 中央監視/BEMS等により主要な用途別のエネルギーを測定し、システム効率を評価を行う。	LR2 資源・マテリアル - 節水器具の採用や雨水を雑排水としてトイレ洗浄水に利用することで水資源の保護に配慮している。 - ノンフロン断熱材を採用している。	LR3 敷地外環境 - 雨水流出抑制対策として建物地下ピットに雨水貯留槽を設け、周囲への負荷低減に配慮している。 - 駐輪場やバイク置場を設置し、駐車スペースの確保および駐車場への導線に配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE[®] 柏

評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1 建物概要				
建物名称	(仮称) 柏の葉キャンパス新技術センター計画 C2棟 新築工事	建築物の環境効率 (BEEランク)	S	★★★★★

2 重点項目への取組み度		
重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	4. 1 / 5.0	すばらしい
K2 うるおいのある景観をつくる	4. 0 / 5.0	すばらしい
K3 安全で健康な生活環境をつくる	3. 5 / 5.0	ふつう
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)	すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上

3. 中項目の評価(バーチャート)		
K: 柏市の重点項目		
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	K2 うるおいのある景観をつくる	K3 安全で健康な生活環境をつくる
5 4 3 2 1 4.5 3.9 省エネ型まちづくり循環型まちづくり	5 4 3 2 1 4.0 4.0 緑豊かなまちなみ魅力ある景観	5 4 3 2 1 2.5 4.6 健康な暮らし安全な暮らし

4. 設計上の配慮事項	
K1 地球環境にやさしい社会をつくる	スコアシート
・断熱性能を高めて省エネ型まちづくりに配慮する	1. 省エネ型まちづくり
	1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1)
	1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2)
	1.3 設備システムの高効率化(LR1-3)
	1.4 効率的な運用(LR1-4)
・廃棄物保管スペースの確保や分別回収容器の設置により循環型まちづくりに配慮する	2. 循環型まちづくり
	2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1)
	2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1)
	2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2)
	2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4)
K2 うるおいのある景観をつくる	スコアシート
・緑地を可能な限り豊富に設け敷地内のみどり豊かなまちなみに配慮する	1. 緑豊かなまちなみ
	1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1)
・緑地による良好な景観を形成することで魅力ある景観に配慮する	2. 魅力ある景観
	2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2)
	2.2 水空間の創出
	2.3 道路沿いの緑化
K3 安全で健康な生活環境をつくる	スコアシート
・バリアフリー新法の円滑化基準を満足することにより、健康な暮らしに配慮する	1. 健康な暮らし
	1.1 空気質環境(Q1-4)
	1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3)
0	2. 安全な暮らし
	2.1 耐震・免震(Q2-2.1)
	2.2 防犯対策